

第7回 千代川の今後を考える学識懇談会 議事要旨

開催日時：令和4年8月4日（木）10:00～12:10

場 所：鳥取河川国道事務所（WEB 会議）

1. 開会

- ・鳥取河川国道事務所所長 挨拶
- ・委員長 挨拶

2. 1 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更案）（案）について

・事務局説明

- （1）千代川水系河川整備計画変更に向けたスケジュールについて、資料2にて説明
- （2）第6回会議でのご意見と対応について、資料3にて説明
- （3）変更原案に対する関係住民からのご意見と対応について、資料4にて説明
- （4）千代川水系河川整備計画（変更案）（案）について、資料5, 6にて説明

・質疑応答

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
資料1	—	意見なし	—
資料2	—	意見なし	—
資料3	—	意見なし	—
資料4	F 委員	会議資料としてではなく、意見に対する回答としてHP等に公表した方がよいのではないか。回答は、役所の言い回しにならないように、表現を工夫した方がよい。住民からの意見を大切にするのであれば、意見募集の際に、いつ、どのようなかたちで回答するかも書いていた方がよかったかもしれない。	一般の方から頂いた整備計画に関するご意見についてのHPへの掲載や回答は同資料にて行いますが、頂いたご意見につきまして、内容毎に所内及び関係機関調整を行い、対応を取らせて頂きたい。
資料5,6	E 委員	資料5のP.34の表を「重要な種の確認種数」から「動植物の確認種数」に変えていただいているが、文中に「重要な」の記載が残っているため、削除すべき。	文中の「重要な」を削除する。
	E 委員	資料5のP.35～38に、区分別に動植物の写真に掲載していただいているが、植物の写真がなく偏りが見られるため、バランスよく写真を選定していただきたい。	水辺の国勢調査等を基に、動植物に偏りがないように写真を選定、対応を取らせて頂きたい。
	D 委員	この場での回答を求めないが、資料5のP.9の主な洪水の一覧を見ると、過去のT7.9、S54.10等の洪水は台風性であるが、近年は前線性が増えており、洪水の質が変わってきていると感じている。このようなことについて、気象を扱う機関とも連携して調べていくことも必要ではないかと思うので認識しておいてほしい。	—

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
	A 委員	資料 5 の P. 31 の利水については、近年までのデータを踏まえ、現況を詳細に記載したらよいのではないか。また、低水流量も併せて堰ダム完成以降の状況も記載したらよいのではないか。	事務局で再度精査して、対応を取らせて頂きたい。
	A 委員	資料 5 の P. 32 の水利流量割合のグラフは、件数も入れたらより分かりやすいのではないか。また、農業用水は、慣行・許可の内訳も示したらよいのではないか。	事務局で再度精査して、対応を取らせて頂きたい。
	E 委員	資料 5 の P. 41 の水質の項目等に、小学生が実施している水生生物による水質判定学習について記載してはどうか。	資料 5 の P60 以降、「河川整備の実施に関する事項」の取組みの 1 つとして記載するのが適切と思われる。本文の内容は事務局内で精査し、必要に応じ修正する。
	D 委員	気候変動に伴って雨の降り方や流量が変わると言われているが、それだけではなく影響は多岐にわたる。(直接の洪水被害によらない)気候変動からの想定による整備計画の変更は、中国地方整備局管内で千代川が初となる。これが変更の 1 番大きな趣旨であるが、全体的にそのあたりの記載が薄い。	資料 5 の P. 54 「目標設定の背景」に、気候変動に関する記載をしているが、降雨量や流量の増大だけでなく、利水や生態系への影響も当然あると認識している。今回は段階計画である河川整備計画の変更であるが、今後、基本方針についても、気候変動を踏まえ様々な観点からの検討を予定しており、その際に本日ご出席頂いた委員の皆様をはじめ、さまざまな方から知見を頂き対応してまいりたいので、引き続きご協力のほどお願いする。

2. 2 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】(変更案)(案)に関する事業再評価について

・事務局説明

(1) 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】(変更案)(案)に関する事業再評価について、

資料 7 にて説明

・質疑応答

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
資料 7	F 委員	国勢調査は H27 の結果を使用しているということであるが、R2 国勢調査結果が新たに公表されている。これを使用しなくてもよいか。	費用対効果の算定にはメッシュデータが必要である。R2 国勢調査結果のメッシュデータは公表されていないため、現時点で最新のメッシュデータである H27 の結果を使用している。
	F 委員	感度分析は、今後の人口予測や気候変動の想定を踏まえたケースについても実施しておくべきではないか。	今回は、国土交通省の感度分析の通達に基づいて算定している。頂いた意見については、上位機関にも伝えておく。

※議事 2. 1, 2. 2 にかかる「意見及び質問」に対しては、委員長と事務局に一任し、本文への記載等について検討

3. 開会

・河川部 河川計画課長 挨拶

【配布資料】

資料 1 千代川の今後を考える学識懇談会 設立趣旨、規約、情報公開について

資料 2 千代川水系河川整備計画変更に向けたスケジュール（案）

資料 3 第 6 回会議でのご意見と対応

資料 4 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更）（原案）に対する関係住民からのご意見と対応

資料 5 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更案）（案）

資料 6 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更）（原案）と

千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更案）（案）の本文対比表

資料 7 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更案）（案）に関する事業再評価

参考資料 1 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更案）（案）に関する

事業再評価の費用便益比（B/C）算定等資料